株式会社 ホクエイ

保管用

ホクエイ ホームタンク 取扱説明書

適用機種名

HT-1000, HT-G500, HT-G, HT-450,
HT-250, HT-KY250, HT-200, HT-KY200,
HT-G250, HT-G200, HT-ステンG

◎この度は、お買上げ、ありがとうございました。
◎ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく、お使いください。
◎この取扱説明書は、必ず保管してください。

必ずお読みください

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。　安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
※お読みになった後、お使いになる方が、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告の意味

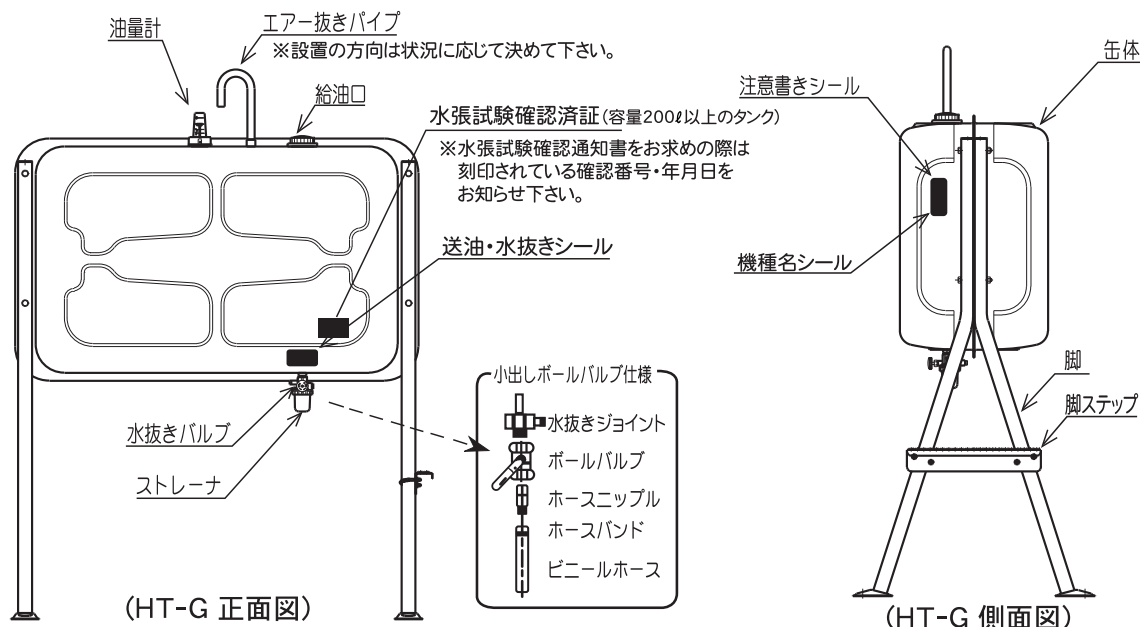
誤った取扱をすると、死亡または重傷または重大な物的損害を、負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意の意味

誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が、想定される内容を示しています。

⚠ 転倒注意

ブロック　地面直接などに設置すると、転倒し火災につながる恐れがあります。
屋外用タンクは、水平で丈夫なコンクリート基礎などに設置し市販のアンカーボルト（または基礎ボルト）で正しく固定してください。

※タンクの各部名称（下図は、HT－G 型です。その他の機種と仕様が異なります。）

⚠ 警　　告

火　気　厳　禁

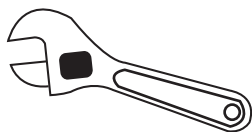
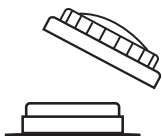
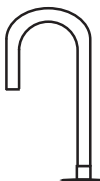
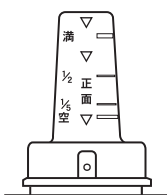
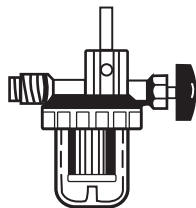
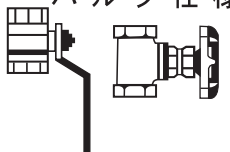
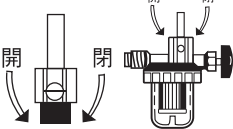
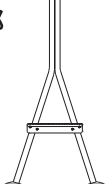
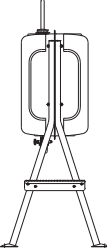
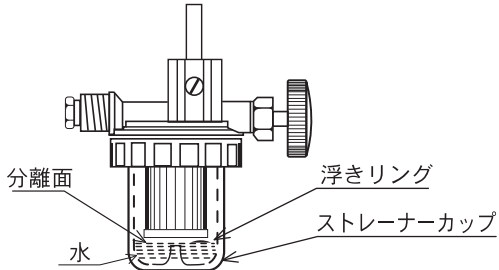
引火の恐れがあります。火を近付けないでください。
(1) タンク付近で、火を絶対に使わない。
(2) タンク付近に、火が飛ぶようなことは絶対にしない。

ガソリン厳禁

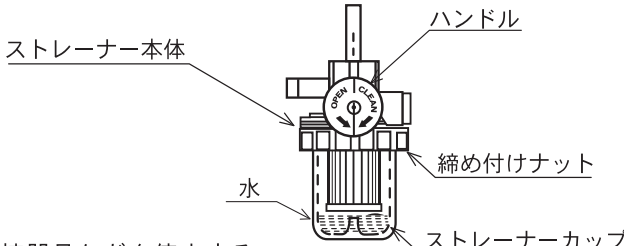
火災の恐れがありますので、ガソリンをタンクに給油しないでください。

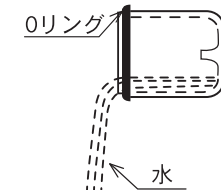
分解・改造厳禁

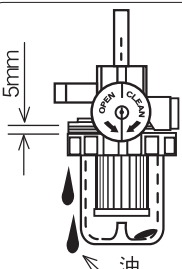
絶対に分解または、改造は行わないでください。
爆発、発火、転倒、油もれの恐れがあります。

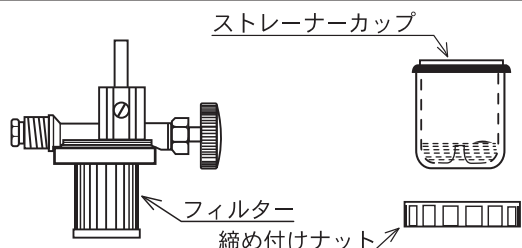
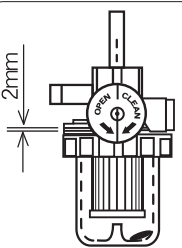
⚠ 注　　意

設置方法	(1) タンクの設置は、各地の火災予防条例に従ってください。 (2) タンクの設置は、落雪の恐れの無い場所にしてください。 (3) タンクの設置は、タンクに雨ダレなどがかかる軒下を避けてください。 タンク内面に結露が発生し、タンク内の水たまりの原因になります。 ※タンクへの雨ダレ防止に、タンクルーフを用意しています。
	(1) 万が一、タンクより油もれが発生した時は、速やかに販売店にご連絡ください。
給油口	(1) 給油口キャップを確実にしめてください。 タンク内に、雨水などが入る恐れがあります。
エアー抜きパイプ	(1) エアー抜きパイプに手をかけて、タンクに登ったりしないでください。 エアー抜きパイプの破損や転倒・転落の恐れがあります。 (2) 雪などでエアー抜きパイプを、ふさがないでください。 燃焼器具に安定した送油が出来なくなる恐れがあります。
油量計	(1) 油量計『満』の目盛り以上、給油しないでください。 油が、膨張などであふれる恐れがあります。 (2) 油量計『０』になる前に給油してください。 配管パイプなどに、空気たまりにより燃焼器具などに送油されない恐れがあります。 (3) 油量計目盛部に印字されている『正面』の文字が前にくる様に向け3点ビスを均等に締め、固定してください。※ビスの締め過ぎは油量計を破損させる恐れがあります。 (4) 油量計の損耗度合がいちじるしい場合、油量計を交換してください。
ストレーナー仕様	(1) ストレーナーの透明カップ内に水がたまっているときには、 ① 水抜きバルブより、水を抜いてください。 ② カップ内の水を取り除いてください。 ストレーナーや配管パイプ・燃焼器具の破損の恐れがあります。 (2) 透明カップが衝撃、気象条件等によりひび割れを発生する恐れがあります。 その際はお早めに交換してください。※カップサイズ～φ55×71 (3) 透明カップ内のフィルターが、極端に汚れている場合は交換してください。 燃焼器具に安定した送油が出来なくなる恐れがあります。※フィルターサイズ～φ35×60 (4) ストレーナー交換時はホクエイ純正3wayストレーナーをご使用ください。
バルブ仕様	(1) バルブは使用後、確実にしめて油もれが無いことを確認してください。 油もれにより土の汚染やアスファルト舗装の溶ける恐れがあります。 ※ バルブのいたずら防止に、バルブガードを用意しています。(別売)

注　意

水抜きバルブ	(1) タンク内は結露で水が発生します。 一年に数回以上、もしくはタンク内に水がたまった場合は、必ず水抜をして下さい。燃焼器具に損傷を与える事があります。 (2) タンク内にゴミやサビなどが極端に蓄積し、水抜きバルブの穴が詰ったときには、タンク内を洗浄、もしくは缶体を交換してください。
脚　部	(1) 長期間のご使用もしくは、設置状況によって、脚の腐食により強度減少のためタンク転倒の恐れがあります。 (2) ボルトのゆるみによる、タンク転倒の恐れがあります。 (3) 脚部が傾いたときは、タンク転倒の恐れがあります。 ※ (1)～(3)を、お気付きになったときは、販売店などに速かにご連絡してください。
タンク全般	(1) 貯蔵油は灯油もしくは軽油です。 (2) 転落の危険があるので、タンクに乗らないでください。 給油などの時には、台などを用意してください。 (3) 危険なので、タンクの周辺に物を置かないでください。 (4) 注意シールの字などが、見えなくなった時は、交換してください。 (5) 配管パイプを傷付ける行為は、絶対しないでください。 (6) タンク端部に人の体や手・足をぶつけると、裂傷や打撲などの傷害の恐れがあります。 (7) タンクの移設は、必ず内容油を全て抜いてから行ってください。
据付後の確認	(1) 各バルブをしっかり閉めてから油をいれてください。 (2) 油を入れた後、各接続部から油漏れがないかしっかり確認してください。

※タンク内、水の有無の確認方法

ストレーナーカップに、水がたまっている。

(1) 浮きリングが、浮いている。

(2) 水と油との分離面が、みえる。

※ストレーナー内、水の除去方法

① 燃焼器具などを停止する。
② ストレーナーハンドルを閉めてください。
③ 油を受ける入れ物を、用意してください。

④ 締め付けナットを回して、外してください。
⑤ カップを下方向に引き、外してください。
⑥ フィルターが極端に汚れているときは､交換してください。

⑦ 浮きリングをカップから取り確保して置いてください。
⑧ カップ内の水を取除いてください。

⑨ 元の状態まで組立てから、ナットを緩めてください。

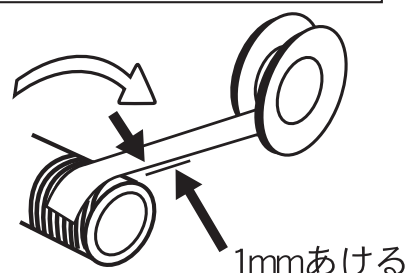
⑩ ハンドルを回して少し開き油が隙間より、あふれ出ることを確認してください。
(ストレーナーカップ内の空気を抜く動作です。)

※⑩の動作が不完全ですと､送油されません。

⑪ 締め付けナットを確実に締めてください。
※締め過ぎはナットを破損させる恐れがあります。
⑫ あふれた油を、抜き取ってください。
⑬ ハンドルを手で回して全開にしてください。

接続個所には、油漏れが無いように必ずシールテープ（又はシール剤）を使用してください。

シールテープの巻き方

図のように矢印方向（時計巻き）に、3〜4回巻きつけてください。
緩まないようにきつく巻いてください。
※シールテープ等は別途お買い求めください。

シールテープなどが必要な接続箇所

※本製品以外の関連部分での注意事項

(1) 灯油用ゴムホースの老化による亀裂
(2) 配管及びゴムホース接続部の締付不完全による離脱
(3) ホームタンクの設置地盤面の降雨による弛み転倒

修理を依頼される時

サービスを依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度、ご点検の上なお、異常がある場合は、お買い上げの販売店へご依頼ください。

補修用部品の最低保有期間

弊社は、補修用部品を製造打切り後、最低10年間保有しております。

部品交換される時

タンクのストレーナーや油量計などの部品交換される時は最寄りの販売店で純正部品をお求めください。

ホクエイ 株式会社ホクエイ

本　　社/札幌市東区北丘珠2条3丁目2番30号　☎(代)(011) 781-5111　FAX(011) 784-2265
関東営業所/埼玉県上尾市原市3206-3江端ビル2階　☎(代)(048) 721-9091　FAX(048) 721-9081
大阪出張所/大阪府吹田市新芦屋下13-6-205号　☎(代)(06) 6816-7011　FAX(06) 6816-7016
福岡出張所/福岡県福岡市南区大橋1丁目18-1-801号　☎(代)(092) 554-5077　FAX(092) 554-5078

改版2012.9